

令和3年 第2回金沢市教育委員会定例会議

1 日 時：令和3年2月17日（水） 13時30分～15時00分（予定）

2 場 所：金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 審議等

頁

議案第2号	令和3年度 金沢市教職員研修の基本方針（案）について （教育プラザ）・・・	1
議案第3号	金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について （歴史都市推進課）・・・	4
議案第4号	金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について 【非公開案件】（歴史都市推進課）・・・	6
議案第5号	令和2年度金沢市議会3月定例会月議会提出予定案件について 【非公開案件】（教育総務課他）・・・	8
報告第4号	金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果（令和2年度10～12月分） について （学校職員課）・・・	24
報告第5号	「金沢市宇宙教育推進計画2021」の策定について （生涯学習課）・・・	29
その他		
	（1）次回の定例会議の日程について	

令和3年度 金沢市教職員研修の基本方針（案）について

令和3年2月17日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和3年度 金沢市教職員研修の基本方針（案）について

1 金沢市教職員研修の基本的な考え方

教員育成指標に基づき、学校を取り巻く諸課題に対応できる豊かな専門性、幅広い社会性、実践的指導力等、教職員に求められる資質・能力と金沢型学習スタイルに基づく授業を実現する指導力の育成を目指す教職員研修を実施する。

2 令和3年度金沢市教職員研修の重点

教員の授業力を高め、児童生徒の学力向上を図るとともに、新たな課題に対応するために、以下の項目を重点として取り組む。

- (1) 教員育成指標に基づき、キャリアステージに応じた研修の充実を図る。
- (2) 若手教員を育成するために、校内における組織的・体系的な研修及びO J T等の充実を図る。
- (3) 新学習指導要領への対応と金沢型学習スタイルに基づく授業改善に向けた研修の充実を図る。
- (4) 今日的な課題に対応するために、ICT活用をはじめとして、専門的知識や実践力を高める研修の充実を図る。
- (5) 教職員が本務に専念する時間を確保しつつ、教職員や学校のニーズに応じた研修の充実を図る。

令和2年度 教職員研修の状況について

学校教育センター

1 教職員研修実施状況（2月実施見込みを含む）

(1) 講座数

種別	講座数 (当初の計画)	実施講座数	実施内訳		
			対面 (集合等)	オンライン (集合)	オンライン (非集合)
1 人材育成	67講座	53講座	42講座	5講座	6講座
2 授業力の向上	20講座	7講座	3講座	4講座	0講座
3 重要課題への対応	10講座	9講座	6講座	1講座	2講座
4 専門的知識・技能の向上	25講座	8講座	4講座	0講座	4講座
5 個別支援型研修の充実	28講座	18講座	18講座	0講座	0講座
講座数	150講座	95講座	73講座	10講座	12講座

(2) 受講者数

区分	R2	R1	H30
講座数	95講座	150講座	165講座
受講者数	5,145人	6,983人	7,095人
【実施内訳】			
・対面（集合等）	4,119人	6,983人	7,095人
・オンライン（集合）	531人	—	—
・オンライン（非集合）	495人	—	—

2 法定研修の実施状況

(1) 初任者研修

- ・受講者 73人（小40人、中26人、高4人、養護3人）
- ・校外研修講座数 30講座

(2) 中堅教諭等資質向上研修（採用から11年目）

- ・受講者 78人（小58人、中15人、高3人、養護2人）
- ・校外研修講座数 8講座

3 デジタル共有サイト「ミライシード・ラボ」の活用状況

(1) 掲載資料 約900本（令和3年1月31日現在）

- ・金沢型学校教育モデル実践支援事業重点指定校等の学習指導案
- ・学校教育センター作成の研修教材、研修動画
- ・独立行政法人教職員支援機構の研修動画
- ・文部科学省のICT活用参考資料 等

(2) 各学校における活用状況

校種	R2	R1
小学校	54校（全校）	41校
中学校	26校（全校）	16校

金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について

令和3年2月17日 提出

金沢市文化スポーツ局
局長 山森 健直

令和3年1月15日
(2021年)

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘 様

金沢市伝統的建造物群保存地区
保存審議会 会長 荻谷 勇 雅



金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について（答申）

令和2年12月23日付けで諮問のあった下記の案件については、諮問案のとおりとすることです承したので答申します。

記

種別	伝統的建造物群保存地区
名称	金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画 (平成23年4月1日教育委員会告示第5号)
変更の内容	1. 伝統的建造物の追加

金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
【非公開案件】

令和3年2月17日 提出

金沢市文化スポーツ局
局長 山森 健直

令和2年度金沢市議会3月定例会議会提出予定案件について
【非公開案件】

令和3年2月17日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果
(令和2年度10～12月分) について

令和3年2月17日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

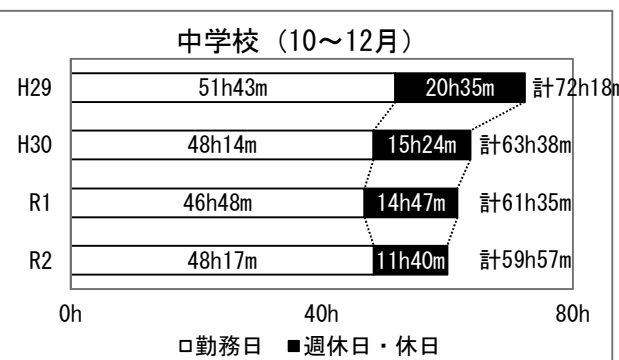
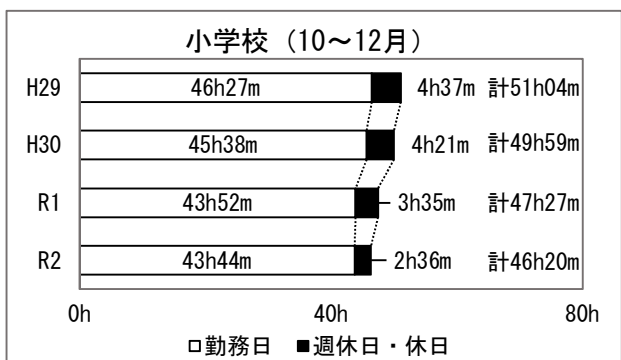
金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果 (令和2年度10~12月分) について

- 1 対象者数 (再任用拠点校指導教員、短時間再任用教諭、短時間非常勤講師は除く)
 小学校 53校 1,321名、中学校 24校 722名 計 2,043名
 ※令和2年4月30日調査時点の人数

- 2 対象職種
 校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、栄養職員、
 事務職員、講師

3 時間外勤務時間の平均 () 内は前年度同時期

区分	1か月あたりの平均	内 訳		
		勤務日	週休日・休日	
小学校	4~6月	32h26m (52h57m)	30h31m (48h30m)	1h55m (4h27m)
	7~9月	32h06m (32h06m)	29h58m (29h23m)	2h08m (2h43m)
	10~12月	46h20m (47h27m)	43h44m (43h52m)	2h36m (3h35m)
	4~12月 (6~12月)	36h57m (44h10m) 41h04m (41h47m)	34h43m (40h35m) 38h39m (38h28m)	2h14m (3h35m) 2h25m (3h19m)
中学校	4~6月	35h21m (74h38m)	30h57m (53h38m)	4h24m (21h00m)
	7~9月	48h45m (47h37m)	35h23m (33h23m)	13h22m (14h14m)
	10~12月	59h57m (61h35m)	48h17m (46h48m)	11h40m (14h47m)
	4~12月 (6~12月)	48h01m (61h17m) 55h46m (57h30m)	38h12m (44h37m) 43h41m (41h41m)	9h49m (16h40m) 12h05m (15h49m)



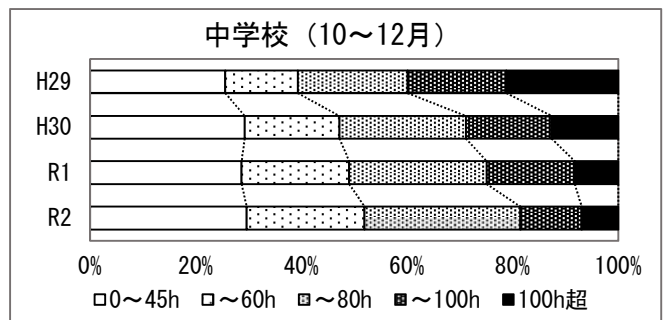
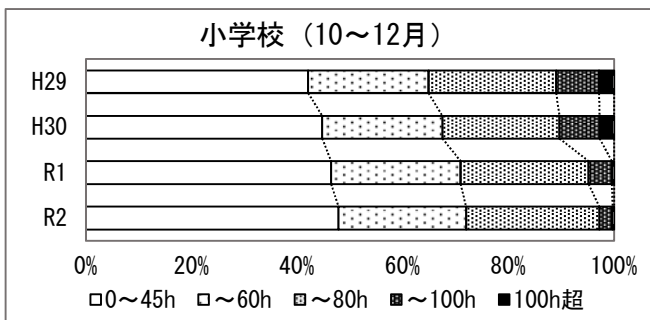
○10~12月の時間外勤務時間の平均は昨年度同時期と比較して、小学校は1時間7分(△2.3%)、中学校は、1時間38分(△2.6%)減少している。

○10~12月の「週休日・休日」の時間外勤務時間は昨年度同時期と比較して、小学校で59分(△27.4%)、中学校で3時間7分(△21.1%)減少しているものの、依然として、小学校と中学校の差が大きく、中学校が小学校より9時間4分多くなっている。

4 時間外勤務時間の分布 ()内は前年度の割合

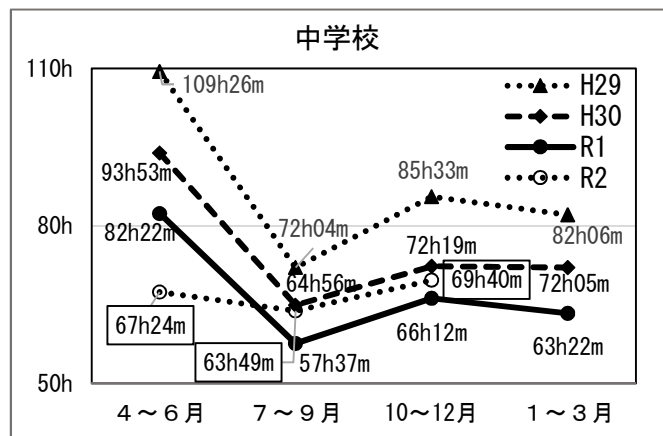
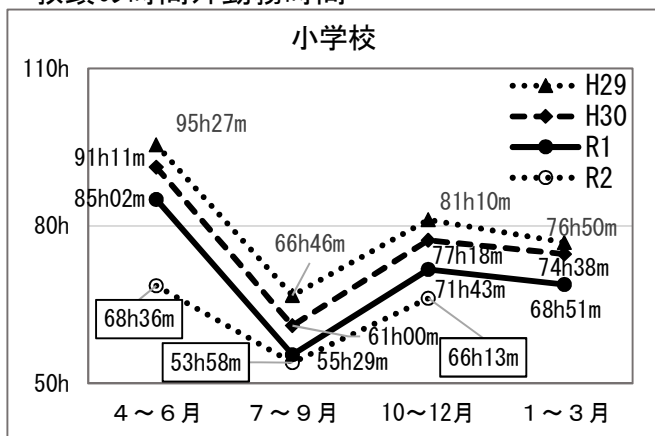
単位 %

	区分	0~45h	~60h	~80h	~100h	100h超
小学校	4~6月	73.0 (36.8)	11.2 (24.4)	12.2 (29.7)	3.0 (8.0)	0.6 (1.1)
	7~9月	67.5 (65.7)	16.5 (17.8)	14.2 (14.3)	1.6 (2.1)	0.2 (0.1)
	10~12月	47.9 (46.4)	24.1 (24.5)	25.2 (24.3)	2.5 (4.4)	0.3 (0.4)
	4~12月 (6~12月)	62.9 (49.7) 54.9 (53.0)	17.3 (22.2) 20.7 (21.6)	17.2 (22.8) 21.3 (21.0)	2.3 (4.8) 2.8 (4.0)	0.3 (0.5) 0.3 (0.4)
中学校	4~6月	69.3 (19.8)	8.4 (13.3)	12.3 (26.0)	6.4 (22.3)	3.6 (18.6)
	7~9月	50.9 (50.3)	12.2 (12.1)	19.6 (19.4)	10.8 (12.4)	6.5 (5.8)
	10~12月	29.7 (28.7)	22.3 (20.4)	29.5 (26.0)	11.6 (16.7)	6.9 (8.2)
	4~12月 (6~12月)	50.0 (32.9) 38.4 (36.7)	14.3 (15.3) 16.9 (15.8)	20.4 (23.8) 25.4 (22.9)	9.6 (17.1) 12.1 (16.0)	5.7 (10.9) 7.2 (8.6)



○10~12月の時間外勤務時間が1か月80時間を超える者の割合は、小学校で2.8%(昨年度同時期比△2.0ポイント)、中学校で18.5%(同△6.4ポイント)となっている。
4~12月の平均では、小学校で2.6%(同△2.7ポイント)、中学校で15.3%(同△12.7ポイント)となっている。

5 教頭の時間外勤務時間



○10~12月の教頭の時間外勤務時間の平均は、小学校は66時間13分であり、5時間30分減少しているが、中学校は69時間40分であり3時間28分増加している。

6 10～12月の職種別・年齢別の集計

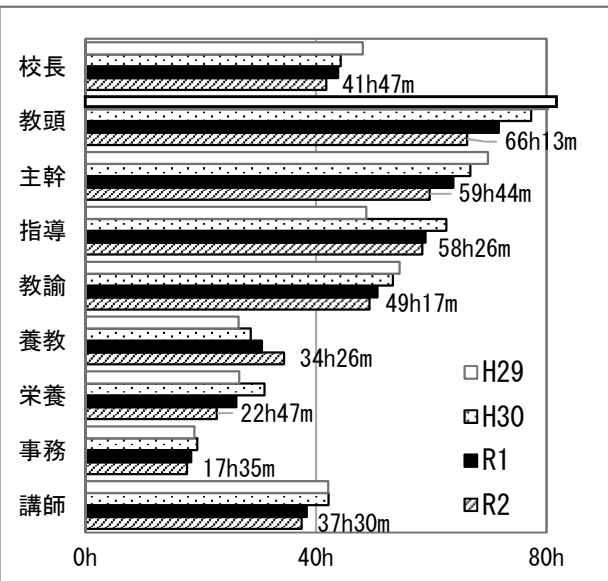
表の項目について

- 10～12月の平均・・・1か月あたりの時間外勤務時間の平均
- 80～100h・・・1か月あたりの時間外勤務時間の平均が80～100時間の人数の割合
- 100h超・・・1か月あたりの時間外勤務時間の平均が100時間を超えた人数の割合
- 対象人数・・・令和2年4月30日調査時点の人数

(1) 職種別

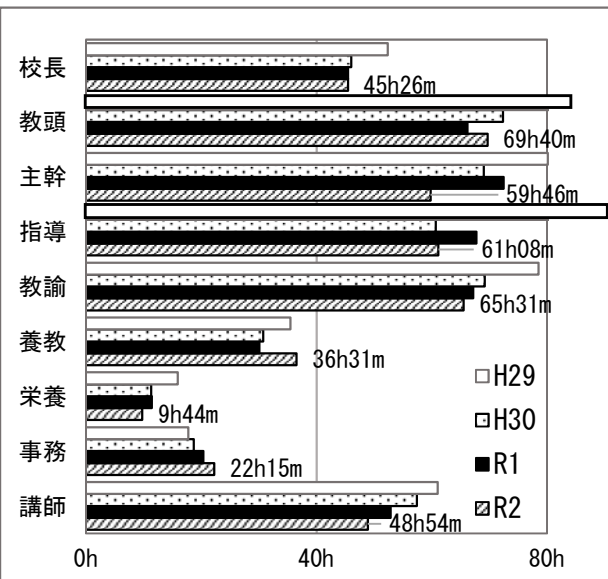
①小学校 () 内は前年度同時期比

職種	10～12月の平均	80～100h	100h超	対象人数
校長	41h47m (△4.7%)	0.0%	0.0%	50
教頭	66h13m (△7.7%)	8.2%	0.6%	55
主幹教諭	59h44m (△6.4%)	4.4%	0.0%	15
指導教諭	58h26m (△0.9%)	0.0%	0.0%	4
教諭	49h17m (△2.7%)	2.9%	0.3%	931
養護教諭	34h26m (+12.4%)	0.6%	0.0%	53
栄養教諭等	22h47m (△13.0%)	0.0%	0.0%	20
事務職員	17h35m (△4.0%)	0.0%	0.0%	53
講師	37h30m (△2.3%)	0.7%	0.2%	140
総計	46h20m (△2.3%)	2.5%	0.3%	1,321



②中学校 () 内は前年度同時期比

職種	10～12月の平均	80～100h	100h超	対象人数
校長	45h26m (△0.1%)	0.0%	4.2%	24
教頭	69h40m (+5.3%)	9.3%	8.0%	25
主幹教諭	59h46m (△17.5%)	5.1%	0.0%	13
指導教諭	61h08m (△9.7%)	33.3%	0.0%	3
教諭	65h31m (△2.5%)	14.4%	8.6%	519
養護教諭	36h31m (+21.3%)	1.3%	0.0%	25
栄養教諭等	9h44m (△14.9%)	0.0%	0.0%	5
事務職員	22h15m (+9.4%)	1.2%	1.2%	28
講師	48h54m (△7.5%)	5.3%	2.5%	80
総計	59h57m (△2.6%)	11.6%	6.9%	722



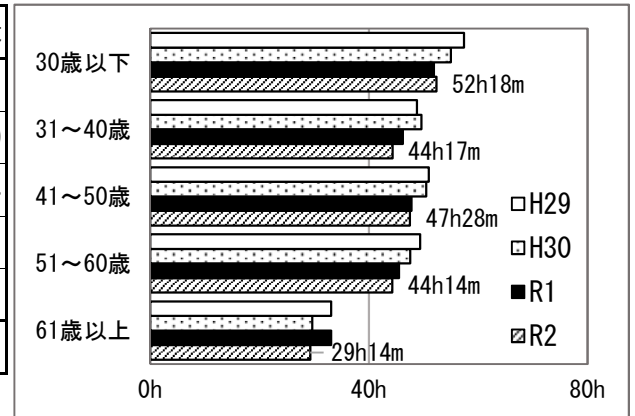
○小学校では、昨年度同時期と比較して、養護教諭(+12.4%)の時間外勤務時間が増えているが、その他の職種では時間外勤務時間が減っている。

○中学校では、昨年度同時期と比較して、教頭(+5.3%)、養護教諭(+21.3%)、事務職員(+9.4%)の時間外勤務時間が増えているが、その他の職種では時間外勤務時間が減っている。

(2) 年齢別

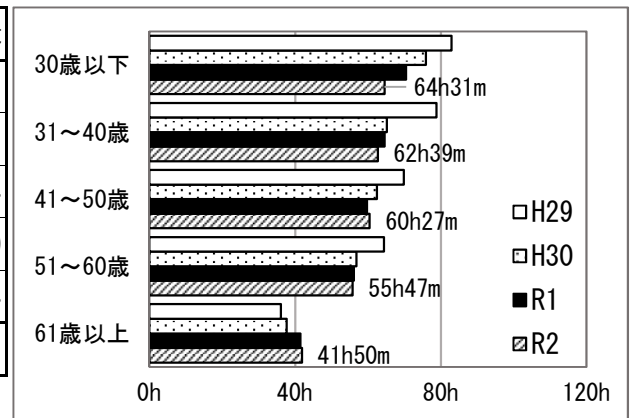
①小学校 ()内は前年度同時期比

年齢	10～12月の平均	80～100h	100h超	対象人数
30歳以下	52h18m (+0.8%)	4.1%	0.5%	321
31～40歳	44h17m (△4.1%)	2.9%	0.3%	350
41～50歳	47h28m (△0.7%)	2.1%	0.3%	264
51～60歳	44h14m (△2.8%)	1.3%	0.1%	343
61歳以上	29h14m (△11.6%)	0.0%	0.0%	43
総計	46h20m (△2.3%)	2.5%	0.3%	1,321



②中学校 ()内は前年度同時期比

年齢	10～12月の平均	80～100h	100h超	対象人数
30歳以下	64h31m (△8.4%)	14.4%	9.7%	187
31～40歳	62h39m (△2.9%)	11.6%	8.4%	157
41～50歳	60h27m (+1.2%)	13.9%	6.9%	134
51～60歳	55h47m (△0.6%)	9.0%	4.2%	220
61歳以上	41h50m (+0.9%)	0.0%	0.0%	24
総計	59h57m (△2.6%)	11.6%	6.9%	722



○時間外勤務時間は、小中学校ともに30歳以下の教職員(小52h18m、中64h31m)が最も多い。

○小学校では、61歳以上の教職員を除いて、年代による差は比較的小さいが、中学校では年代が若くなるほど時間外勤務時間が多くなっている。この傾向は、平成29年度から変わっていないが、その較差は縮小している。

「金沢市宇宙教育推進計画 2021」の策定について

令和3年2月17日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

「金沢市宇宙教育推進計画 2021」の策定について

1 趣 旨

宇宙開発が本格化していくこれからの時代を担う人材の育成を目的に、宇宙・教育・産業分野の有識者からなる「金沢市宇宙教育推進懇話会」を設置し、時代に応じた宇宙教育の在り方について議論を重ね、懇話会から提出された「金沢市宇宙教育推進に関する提言」を基に「金沢市宇宙教育推進計画 2021」を策定した。

2 概 要

(1) 基本理念

宇宙の視座から未来を拓く 金沢のひと・まちづくり

(2) めざす姿

- 未来を見つめ、宇宙への夢や希望を持ち挑戦する姿
- 未来創造に向け、課題を設定し解決していく姿
- 新しい価値を創造していく姿

(3) テーマ

テーマ1 『宇宙の学びを深め未来を創造する人材の育成』

- 〈 Mission 1 〉 多様な学習ニーズへ対応する学びの場の設定
- 〈 Mission 2 〉 市民の学びの支援とボランティア活動の場の設定
- 〈 Mission 3 〉 新しい価値創造へ向けての協働関係の構築

テーマ2 『広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり』

- 〈 Mission 4 〉 市民に届く情報発信の充実
- 〈 Mission 5 〉 天文分野の魅力発信と新たな学びの場の提供
- 〈 Mission 6 〉 情報化に対応した学習情報の提供と学習環境の整備

(4) 計画期間

令和3年度～令和12年度（10年間）

3 経 過

令和2年7月29日	第1回宇宙教育推進懇話会
令和2年8～9月	アドバイザーからの意見聴取
令和2年10月20日	第2回宇宙教育推進懇話会
令和2年11～12月	アドバイザーからの意見聴取
令和3年1月25日	「金沢市宇宙教育推進に関する提言」

基本理念の実現に向けた2つのテーマと具体的な取り組み

テーマ1 『宇宙の学びを深め未来を創造する人材の育成』

〈 Mission 1 〉 多様な学習ニーズへ対応する学びの場の設定

- ◆ 幼児から大人まで幅広く、宇宙・天文を学べる体制の強化
- ◆ JAXA、国立天文台との連携の充実
- ◆ 民間や高等教育機関で行われている学習情報の提供【産学官の連携】

具体的な取り組み	内 容
金沢宇宙塾	<ul style="list-style-type: none"> ・キンダーコース（年中・年長）の新設【キッズ・ジュニアコース（小学生）】 ・体験活動の充実 ・STEAM教育の実施 【ファンダメンタル・テクニカルコース（中高生）】 ・企業見学・体験の実施 ・金沢大学理工学域の研究室との交流 ・スーパーサイエンスハイスクール（金沢泉丘高等学校等）との交流 ・全国規模での発表の場の設定
企画展	・JAXAや国立天文台との協定を活かした企画展の開催
キゴ山宇宙講演会	・宇宙分野の専門家による講演会の開催
起業家育成講座	・民間企業と連携した「金沢からの企業人」の育成
Cube Sat 開発プロジェクト	・金沢市立工業高等学校との連携による超小型衛星「Cube Sat」の制作

〈 Mission 2 〉 市民の学びの支援とボランティア活動の場の設定

- ◆ 学びの場の提供 ◆ 学びの成果の発表や活動の場の提供
- ◆ ボランティア活動への支援（広報、養成研修、登録推奨などの実施）

具体的な取り組み	内 容
星のインタープリター制度	<ul style="list-style-type: none"> ・養成講座の実施 (天体望遠鏡使用方法、プラネタリウム解説等)

〈 Mission 3 〉 新しい価値創造へ向けての協働関係の構築

- ◆ 市外のプラネタリウム施設等との連携
- ◆ 価値創造拠点（金沢市の新産業創出ビジョンの拠点）との連携
- ◆ 新たな分野への挑戦（宇宙ビジネス、宇宙開発）【産学官の連携】

具体的な取り組み	内 容
地域連携プロジェクト	・他の地域と連携した宇宙教育の推進
伝統文化×宇宙の新しい価値の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙に関連した商品開発の提案 ・金沢美術工芸大学と連携した宇宙作品展
宇宙産業に関する公開討論会	・金沢発の宇宙ビジネス創出をめざし、宇宙開発の著名人の講演やディスカッションを開催
人工衛星開発を通じた学び	・市民の宇宙への興味関心を高めるため、人工衛星の開発や衛星データを利用した学びへの挑戦

テーマ2 『広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり』

〈 Mission 4 〉 市民に届く情報発信の充実

- ◆最新の宇宙開発・天文情報を提供するホームページの充実
- ◆主催事業への参加者拡充のための広報の充実 ◆報道機関との連携

具体的な取り組み	内 容
ホームページ・SNS等での情報交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ Y o u T u b e など動画配信 ・ J A X A や国立天文台との協定を活かした最新情報の提示 ・ S N S (Instagram 等) の即時性を活かした情報発信
主催事業や施設の広報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報誌やラジオなどメディアを通じた情報の発信
報道機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放送局によるキゴ山からの L I V E 映像の配信 ・ 気象予報士による星空情報の発信 ・ 新聞社への特集記事の積極的な提案

〈 Mission 5 〉 天文分野の魅力発信と新たな学びの場の提供

- ◆市民が参加しやすい場所での天体イベントの開催（駅、公園、ベイエリアなど）
- ◆プラネタリウムを利用したイベントの拡充 ◆学校教育における天文学習の推進
- ◆公民館との連携による宇宙・天文の学びの場の設定

具体的な取り組み	内 容
市街地での天体観望会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢城址公園、しいのき迎賓館、金沢ベイエリアなどでの天体観望会の開催
プラネタリウムを利用したイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 星と夜空の音楽会（プラネタリウムと音楽） ・ 星空と朗読（プラネタリウムと朗読）など
キゴ山での天体観望会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金曜日は星見の日、お泊りスターウォッチング
出前授業	<ul style="list-style-type: none"> ・ キゴ山職員、民間企業の専門家による講義
アストロスクール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生4年生を対象にした四季の星空を学ぶイベントの開催
学校・公民館との連携による天体観望会	<ul style="list-style-type: none"> ・ サマースクール等での天体観望会の実施 ・ 公民館での天体観望会の実施

〈 Mission 6 〉 情報化に対応した学習情報の提供と学習環境の整備

- ◆無線LAN等のインターネット環境の整備 ◆天文学習棟の展示物のリニューアル
- ◆学校教育をサポートする情報提供

具体的な取り組み	内 容
無線LAN環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来館者のリアルタイムな情報の取得と発信 ・ ネット環境を利用した活動プログラムの充実
天文学習棟の展示リニューアル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新情報の提供を行うために展示物の更新を実施
理科学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ G I G A スクール構想に伴い、リモートによる天文情報の提供や学習指導の実施

資 料

議案第 3 号

金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について

金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について

金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画（平成 23 年 4 月 1 日金沢市教育委員会告示第 5 号）について、下記のとおり変更する。

記

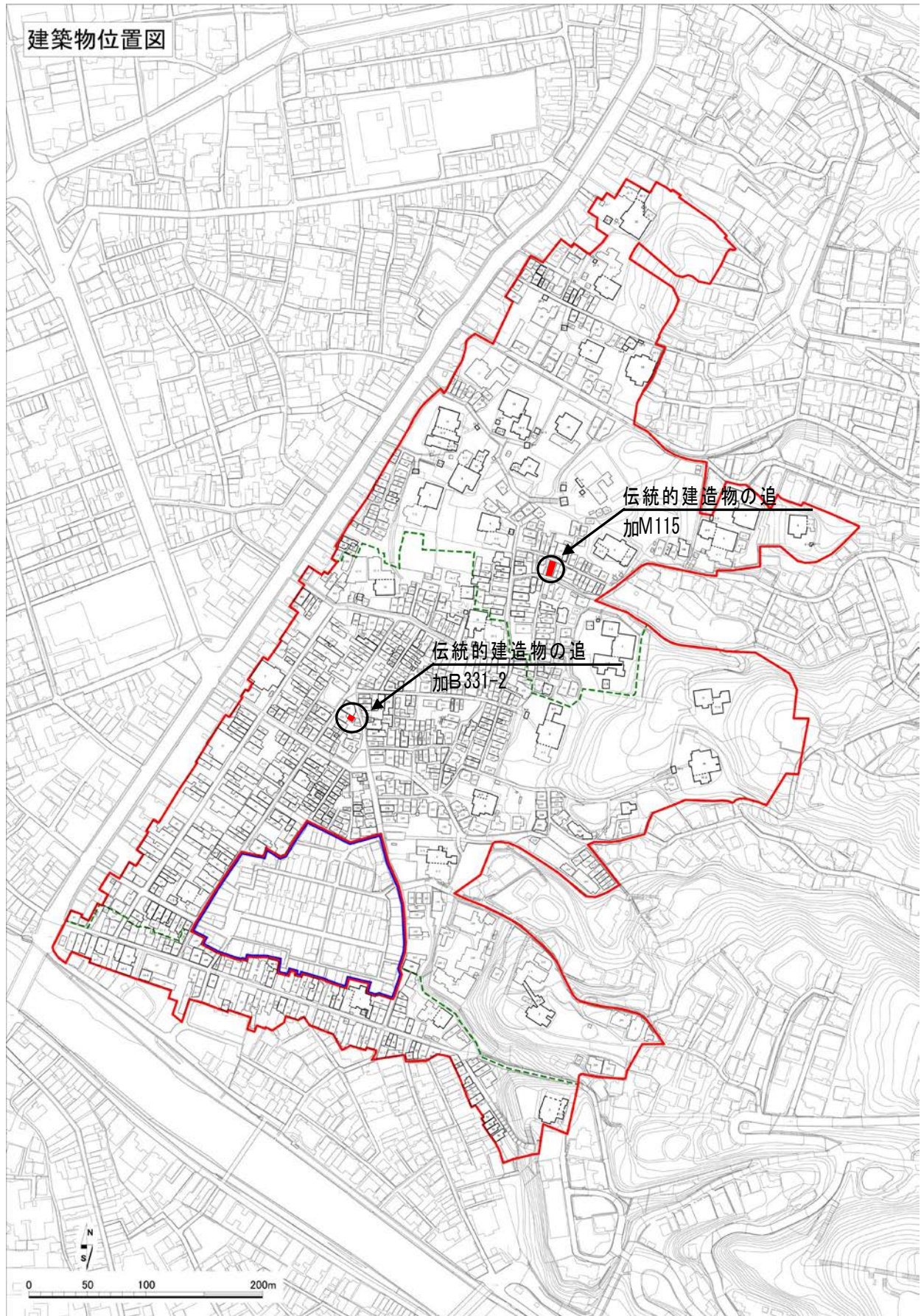
変更内容

1. 伝統的建造物の追加
（内訳） 伝統的建造物（建築物） 2 件

- ① 別表第 1 に次のように加える。

番号	保存計画番号	種 別	員数	所 在 地	備 考
(省 略)					
87	M115	主屋	1 棟	金沢市東山 2 丁目 20 番 6 号	
(省 略)					
120	B 331-2	土蔵	1 棟	金沢市東山 2 丁目 4 番 5 号	
(省 略)					

別図第2-1 伝統的建造物（建築物）に係る図面（全体）



<追加する伝統的建造物の概要>

① 保存計画番号M115 建築物 1棟

金沢市東山2丁目20番6号

- ・明治期建築
- ・木造平屋建



② 保存計画番号B331-2

建築物 1棟

金沢市東山2丁目4番5号

- ・江戸期建築
- ・土蔵造2階建



(参考) 伝統的建造物・環境物件の件数

	現在の件数	今回追加件数	今回解除件数	追加後の件数
伝統的建造物（建築物）	246	2	—	248
伝統的建造物（工作物）	45	—	—	45
環境物件	13	—	—	13

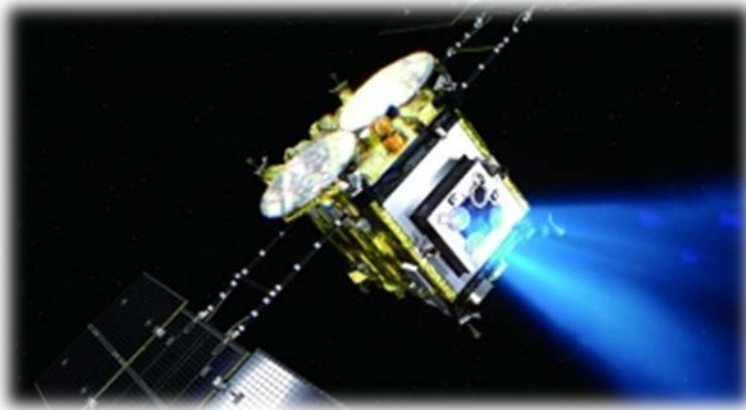
金沢市宇宙教育推進計画 2021



キゴ山ふれあい研修センター



ブラックホール ©EHT Collaboration 国立天文台



宇宙探査機「はやぶさ2」©JAXA

宇宙の視座から未来を拓く

金沢のひと・まちづくり

令和3年2月

金沢市教育委員会

はじめに

2020年12月、はやぶさ2はリュウグウから岩石サンプルを地球に持ち帰るという壮大なミッションを成し遂げました。世界に誇る日本の宇宙開発、小惑星探査等の技術力には目を見張るものがあります。今後、サンプルの解析が進むことで、太陽系の誕生と生命の秘密が解き明かされることをおおいに期待しています。



宇宙には多くの謎が存在しています。それらを探究することは、私たちの好奇心や冒険心を掻き立ててくれます。また、宇宙を視座とした学びは、あらゆる分野の学問につながっており、子供たちの学びの心を燃え上がらせてくれます。

金沢市は、今後の更なる宇宙教育推進に向けて、「金沢市宇宙教育推進懇話会」を開催し、宇宙・教育・産業分野における識者の皆様から、本市が目指すべき宇宙教育の推進に関する施策等についてご議論いただくとともに、国内における宇宙教育・宇宙産業分野の識者皆様からもご助言をいただきました。これまでのご議論やご助言をもとに、この度「金沢市宇宙教育推進計画 2021」を策定しました。本市ではこれから、この計画に基づき、青少年の夢や希望を育む宇宙教育を推進してまいります。

終わりに、本計画の策定にあたり、ご審議をいただきました「金沢市宇宙教育推進懇話会」の委員の皆様、アドバイザーの皆様から心から感謝を申し上げます。

2021年（令和3年）2月

金沢市教育長 野口 弘

目次

第1章	金沢市における宇宙教育の現況		
	1. 国の動向	・・・	3
	2. 金沢市における宇宙教育	・・・	4
第2章	金沢市宇宙教育推進計画策定の趣旨		
	1. 計画策定の背景と目的	・・・	5
	2. 計画の位置づけ	・・・	5
第3章	金沢市宇宙教育推進計画の基本的な考え方		
	1. 基本理念	・・・	6
	2. めざす姿	・・・	6
	3. 計画期間	・・・	6
	4. 基本理念の実現に向けた2つのテーマ	・・・	7
	5. テーマの実現に向けた具体的な取り組み	・・・	8～16
	6. 年次計画	・・・	17～18
第4章	金沢市宇宙教育推進計画2021の推進体制		
	1. 推進体制	・・・	19
	2. 評価と見直し	・・・	19
	金沢市宇宙教育推進計画2021策定の経緯	・・・	20
	金沢市宇宙教育推進懇話会委員・アドバイザー名簿	・・・	20

第1章 金沢市における宇宙教育の現況

1 国の動向（宇宙関連）

◇宇宙基本法策定（平成20年5月）

日本の宇宙開発利用を進める法案で「宇宙の平和的利用」「国民生活の向上等」「産業の振興」「人類社会の発展」「国際協力等の推進」「環境への配慮」の6つを基本理念としている。

◇宇宙基本計画（平成28年4月1日策定 令和2年6月30日改訂 閣議決定）

- ・多様な国益に貢献するために宇宙利用を拡大し、自立した宇宙利用大国を目指す計画である。
- ・宇宙活動を支える人材基盤の強化についても言及している。
- ・国際宇宙探査（アルテミス計画）への参画、日本人宇宙飛行士の活躍の機会の確保など、宇宙先進国として取り組みを進めるよう言及している。

◇宇宙産業ビジョン2030（平成29年7月 内閣府宇宙政策委員会）

官民が連携し宇宙活動の様々な分野で商業化を進め、宇宙産業全体の市場規模の倍増（平成29年時点・・・約1.2兆円）を目指す計画である。

特に、超小型人工衛星のコンステレーションによる情報通信網等のインフラ整備に言及している。

◇宇宙イノベーションパートナーシップ（平成30年 JAXA）

新たな発想の宇宙関連事業の創出を目指す新しい研究開発プログラムであり、そのために民間事業者とJAXAの間でパートナーシップを結び、共同で研究を推進する。

◇GALAXY CRUISE（令和2年度 国立天文台）

研究者と市民が一緒に科学的活動を行う「市民天文学」プロジェクトであり、市民が時には研究者・研究機関と共に行う科学的活動「シチズンサイエンス（citizen science）」の日本語名称として、国立天文台が独自に考案したものである。

◇大型プロジェクト（国立天文台）

アルマ望遠鏡やすばる望遠鏡での宇宙観測、大型低温重力波望遠鏡KAGRAの運転開始、超大型望遠鏡TMTの建設を予定するなど、世界最先端の技術で宇宙の謎に迫ろうとする。

2 金沢市における宇宙教育

(1) 本市の宇宙教育の目的

宇宙に関する科学的知見、宇宙の開発及び利用を支える科学技術等に係る体験的な学習等を通じて、宇宙及び科学について関心を深めるとともに、探求する意欲を喚起し、青少年の夢及び希望を育むこと

(金沢市キゴ山ふれあい研修センター条例第2条第2号)

(2) 本市の取り組み

◇キゴ山天体観察センター設置（平成10年度）

医王山山麓キゴ山の豊かな自然環境の中で行う宇宙教育を通じて、心身ともに健全で、創造性豊かな青少年の育成を図るとともに、広く市民の生涯学習の振興に資することをめざし設置した。

◇キゴ山宇宙塾の開設（平成15年度）

宇宙・科学の最新情報や宇宙分野で活躍する方々等の本物との出会いにより、21世紀を担うヤングサイエンティストの育成をめざし開設した。

◇天文学習棟展示リニューアル（平成23年度）

コンセプトの「自然と宇宙」を再整備し、キゴ山の賑わいを創出する中心的な施設とするために、展示リニューアルを行った。

◇金沢市とJAXAが協定締結（平成25年度）

本市における宇宙教育を推進するために『宇宙教育及び普及啓発活動に関する協定』を締結した。

◇「金沢市宇宙教育推進計画」策定（平成28年度）

宇宙分野で活躍する人材育成と宇宙への興味喚起をめざした環境づくりを進めるために、3年間の具体的な取り組み計画を策定した。

テーマ

- ・宇宙分野での貢献を本気でめざす人材の育成
- ・広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり

◇金沢市と国立天文台が協定締結（平成29年度）

本市における宇宙教育を推進するために『天文学の普及啓発及び教育活動に関する協定』を締結した。

◇プラネタリウムの最新機種導入（平成30年度）

プラネタリウムを利用した宇宙教育のさらなる推進をめざし、ハイブリッド型投影機（光学投影機：MEGASTAR-Neo、デジタル投影機：Stella Dome Pro）を導入した。

第2章 金沢市宇宙教育推進計画策定の趣旨

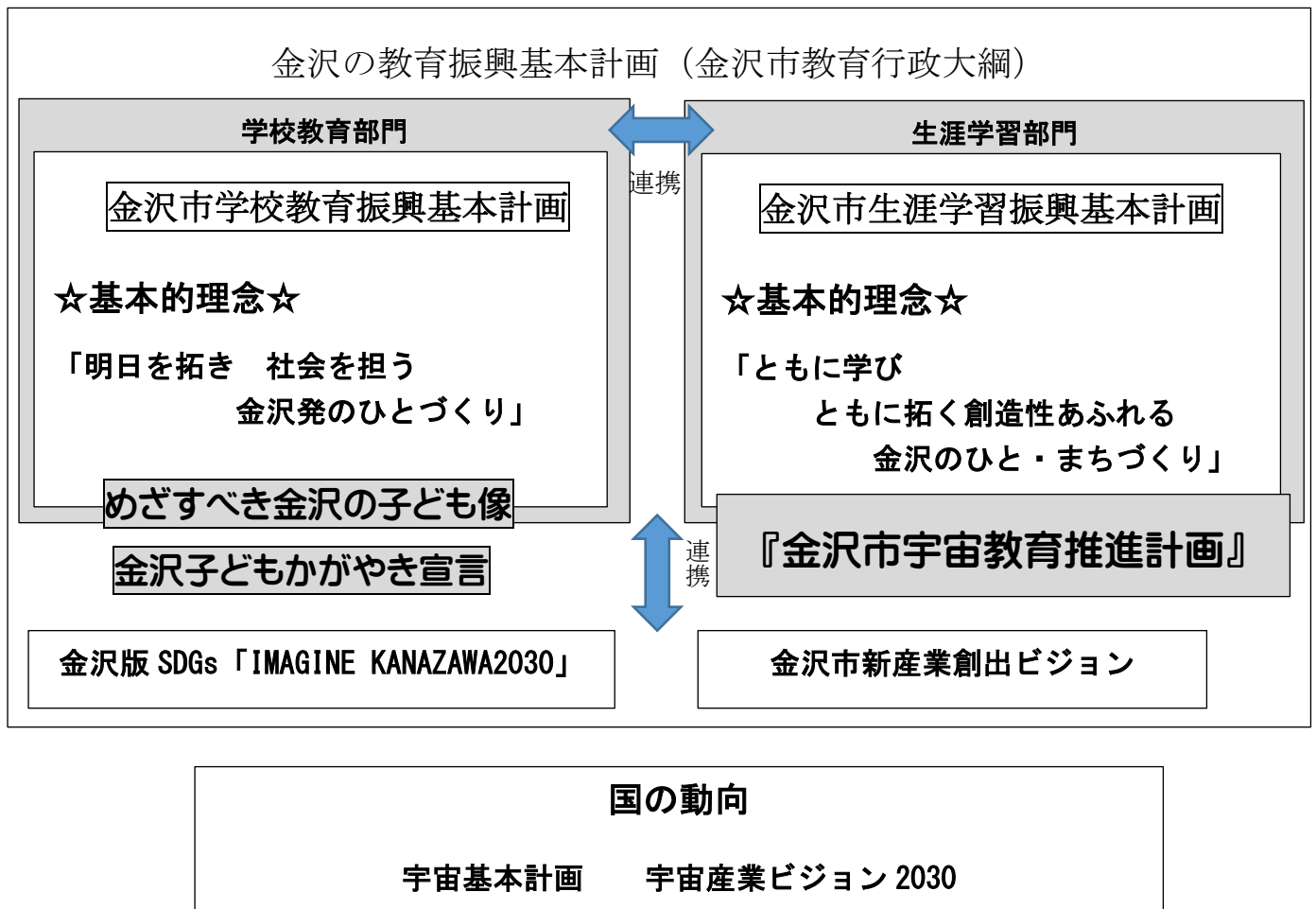
1 計画策定の背景と目的

本市の宇宙教育の推進のため、平成29年2月に策定した「金沢市宇宙教育推進計画」が計画期間の3年間を経過したことから、新たな宇宙教育推進計画を策定する。この計画は、本市がめざす宇宙教育の目的を核としながら、今後の社会環境の変化や宇宙・天文関連分野の動向に対応するよう10年後を見据えた長期的な計画とする。

2 計画の位置づけ

「金沢市宇宙教育推進計画」は、「金沢市生涯学習振興基本計画」の理念に基づき、金沢市における宇宙教育の推進を図るための計画である。

また、産学官の連携した取り組みにより総合的な計画の推進をめざすため、金沢版SDGs「IMAGINE KANAZAWA2030」、「金沢市新産業創出ビジョン」との関連も図っていく。



第3章 金沢市宇宙教育推進計画の基本的な考え方

1 基本理念

宇宙の視座から未来を拓く

金沢のひと・まちづくり

金沢は、歴史や伝統、豊かな自然環境などに培われた文化が集積した土地であります。そこに、宇宙をとおして、新たな価値を創造し、未来に向けて発展していくことをめざします。

金沢市宇宙教育推進計画では、子供たちの夢や希望を、宇宙教育をとおして育むとともに、市民の誰もが宇宙に興味をもてる環境づくりをめざします。

2 めざす姿

金沢市宇宙教育推進計画においてめざす姿を次の3点とする。

○未来を見つめ、宇宙への夢や希望を持ち挑戦する姿

- ・様々な事象に興味を持ち、全ての命を大切にしながら未来に向かう姿

○未来創造に向け、課題を設定し解決していく姿

- ・困難なこともあきらめずに解決し、持続的な発展を支えようとする姿

○新しい価値創造に挑戦する姿

- ・宇宙とのつながりから新しい価値を創造する姿

3 計画期間

令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とし、必要に応じて関連する計画に合わせて見直しを行うものとする。

4 基本理念の実現に向けた2つのテーマ

『宇宙の学びを深め未来を創造する人材の育成』

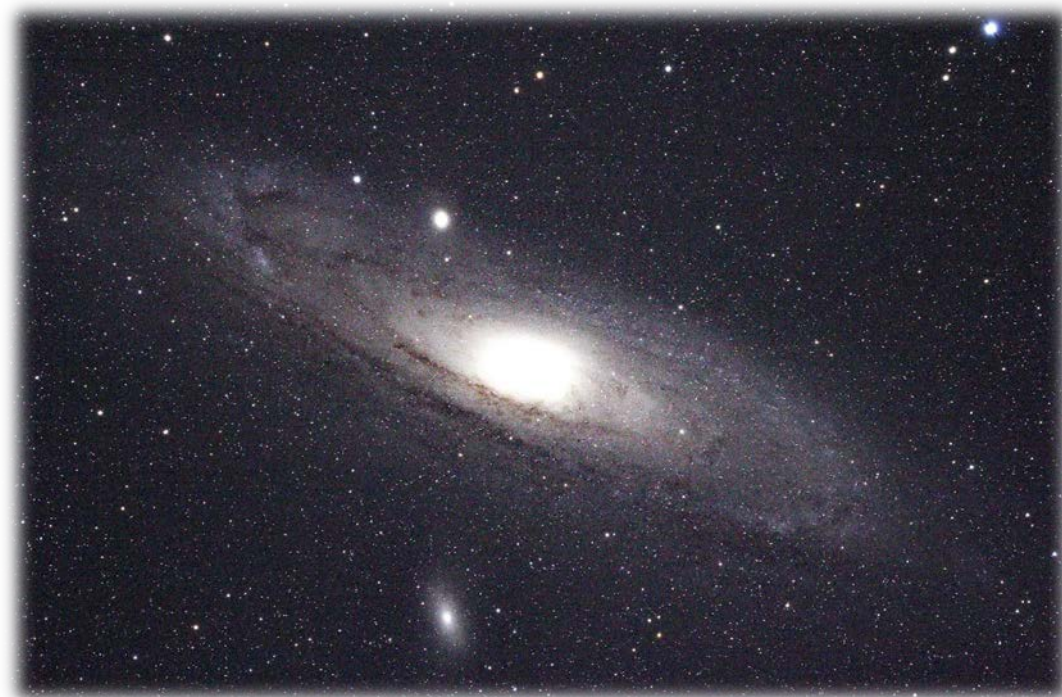
科学技術を大きく発展させてきた人類。しかし、まだまだ宇宙はそのような人類でも解決できない謎で満ちている。そんな宇宙の謎に挑み、さらに新たな謎を見つけ解決しようとする姿勢は、今後の価値観が大きく変化する世界にも対応できるだろう。このような姿勢を持つ人材の育成をめざしたテーマである。

『広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり』

宇宙に興味を持つことは、宇宙からの視点で地球、世界、日本、そして自分を見つめ、さらには「命」を見つめるきっかけとなる。

138億年前に誕生した宇宙の不思議さ、46億年前に誕生した私たちの地球の奇跡、そしてそこに生まれた多種多様な生命の神秘にふれることは、全ての「命」を大切にしようとする姿につながる。

周りの人の「命」を精一杯輝かせられるような人を育てていくための環境づくりをめざしたテーマである。



5 テーマの実現に向けた具体的な取り組み

テーマ1 宇宙の学びを深め未来を創造する人材の育成

社会の変化や多様な学習ニーズに対応した学びの場を設定し、行政、民間、高等教育機関が連携しながら、未来の担い手の育成を支援します。

〈 Mission 1 〉 多様な学習ニーズへ対応する学びの場の設定

様々な年齢層や学びのニーズに対応した学習活動を推進するために、キゴ山ふれあい研修センターを中心とした学びの場を設定します。

- ◆ 幼児から大人まで幅広く、宇宙・天文を学べる体制の強化
- ◆ JAXA、国立天文台との連携の充実
- ◆ 民間や高等教育機関で行われている学習情報の提供【産学官の連携】

(1) 金沢宇宙塾

金沢宇宙塾はテーマを「夢・かかわり・心を育む宇宙塾」とし、塾生が宇宙分野の専門家から、宇宙や科学の最新情報の話を聞くことや、仲間と共にものづくりや研究をすることで、自分自身の将来や自他の心を深く考えることができる人材を育成することを目的とする。

年齢に応じたコースを開設し、幼児から大人まで継続して学ぶことができる。

各コース、対象、内容

各コース (対象)	内 容
キンダーコース (年中～年長)	・ 体験活動 (プラネタリウム観覧、天体観望、水ロケット試射など)
キッズコース (小学校1～3年生)	・ 体験活動 (プラネタリウム観覧、天体観望、水ロケット試射、 JAXAコズミックカレッジのプログラムを利用した活動) ・ STEAM教育の推進
ジュニアコース (小学校4～6年生)	・ 体験活動 (プラネタリウム観覧、天体観望、水ロケット試射、 JAXAコズミックカレッジのプログラムを利用した活動) ・ STEAM教育の推進

ファンダメンタル・ テクニカルコース (中学校1年生 ~高校3年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業見学・体験の実施 ・金沢大学理工学域の研究室との交流 ・スーパーサイエンスハイスクール(金沢泉丘高等学校等)との交流 ・全国規模での発表の場の設定 ・宇宙開発関連施設でのホンモノ体験 ・JAXA、国立天文台などの専門家による講義
おとなの宇宙塾 (18歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による講義 ・活動(天体望遠鏡組み立て、天体写真撮影、プラネタリウム解説)

※STEAM教育とは科学、技術、工学、芸術、数学の頭文字をとった用語である。数学的、科学的な基礎を育成しながら、技術や工学を応用して、創造的、造形的なアプローチで、現実社会に存在する問題に取り組むように指導する。そこに芸術を加えることで拡散思考が加わり創造的な発想が生まれるとも言われている。



水ロケット



プログラミング



国立天文台職員による講演



JAXA 宇宙教育リーダーによる講演



熱気球製作



おとなの宇宙塾
 金沢星の会会員による講演

(2) 企画展

金沢市の宇宙教育の拠点として、キゴ山ふれあい研修センター天文学習棟を中心に、最新の情報を提供するために、JAXAや国立天文台との協定を活かし、特別な資料の展示を行う。

- ・宇宙工学（はやぶさ2の模型、金沢大学の衛星模型 など）
- ・天文（アルマ望遠鏡模型、TMT模型、隕石、月の砂 など）

(3) キゴ山宇宙講演会

宇宙に興味を持つ人が、宇宙についてさらに深く学ぶために、JAXA職員や国立天文台職員など宇宙分野の専門家による講演会を開催する。

(4) 起業家育成講座

主体的に金沢の未来を担おうとする若者を育成するために、宇宙関連のベンチャー企業と連携しながら高校生を対象として開催する。

(5) Cube Sat 開発プロジェクト

高校生が宇宙開発に興味を持ち、自らの技能を駆使し、社会への参画意識を持たせるために、金沢市立唯一の工業高校である金沢市立工業高等学校が金沢大学等と連携しながら10年計画でCube Satの開発をめざす。初めはCan Satなどの製作から、段階的に進めていく。

※Cube Satとは大学の研究室などが製作する数キログラム程度の小型人工衛星である。Can Satとは小型衛星で用いられるものと類似の技術を使用した飲料水の缶サイズの疑似人工衛星である。



©NASA

超小型衛星 Cube Sat

〈 Mission 2 〉 市民の学びの支援とボランティア活動の場の設定

宇宙・天文分野に関する学習成果の活用が、個人の学習意欲の向上や生きがいにつながるために、ボランティア活動への参加を促進する環境を整備します。

- ◆学びの場の提供
- ◆学びの成果の発表や活動の場の提供
- ◆ボランティア活動への支援（広報、養成研修、登録推奨などの実施）

（1）星のインタープリター制度

インタープリターとは自然と人との「仲介」となって自然解説を行う人物のことである。「星のインタープリター」は人と星を仲介することを目的に、イベント等で星の魅力を来場者に伝える。インタープリターを養成するために、天体観望の際の望遠鏡の使用方法やプラネタリアムの解説の仕方を学ぶ講座を開設する。活動の場は「金曜日は星見の日」や「市街地、学校・公民館での天体観望会」とする。

また、おとなの宇宙塾にも新たにボランティア育成のためのカリキュラムを追加する。



ボランティア養成講座

〈 Mission 3 〉 新しい価値創造へ向けての協働関係の構築

新しい価値を創造するために、金沢固有の伝統や文化と宇宙産業・事業を融合するなど産学官の協働関係により生まれる新しい視点での学習を推進します。

- ◆市外のプラネタリアム施設等との連携
- ◆価値創造拠点（金沢市の新産業創出ビジョンの拠点）との連携
- ◆新たな分野への挑戦（宇宙ビジネス、宇宙開発）【産学官の連携】

(1) 地域連携プロジェクト

より多くの人々が宇宙や星に興味を持てるように、他の地域のプラネタリウム施設や科学館、博物館と連携し、新しい宇宙や星の楽しみ方を提供する。

- ・共同スタンプラリー
- ・他館との交換展示 など

(2) 伝統文化×宇宙の新しい価値の創造

金沢に宇宙という新しい価値を吹き込むため、これまでの古き良き文化とコラボレーションをしながら様々な企画を行っていく。

- ・宇宙に関連した商品開発の提案
- ・金沢美術工芸大学と連携した宇宙作品展
- ・金沢城での宇宙プロジェクションマッピング など

(3) 宇宙産業に関する公開討論会

産学各分野の第一線で活躍している専門家や企業経営者等を講師、パネリストとして招き、市民を対象とした公開討論会を開催することにより、これからの宇宙開発への関心を喚起し、人材育成と学びの場の創出に活用する。

(4) 人工衛星開発を通じた学び

市民の宇宙への興味関心を高めるため、人工衛星の開発や衛星データを利用した学びに挑戦する。



金沢大学製作の人工衛星

テーマ2 広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり

生涯に渡って主体的な学びを推進するために、市民の誰もが星空の魅力に感動するような機会の提供を行います。

〈 Mission 4 〉 市民に届く情報発信の充実

宇宙・天文への興味関心を喚起するために、最新の情報を提供する仕組みを整備します。

- ◆最新の宇宙開発・天文情報を提供するホームページの充実
- ◆主催事業への参加者拡充のための広報の充実
- ◆報道機関との連携

(1) ホームページの充実・SNS等での情報交流

ホームページの内容の充実やSNS（Instagram等）の即時性を活かした情報の発信を行う。

- ・ YouTubeなど動画配信
- ・ JAXAや国立天文台との協定を活かした最新情報の提示
- ・ 市民参加型の天体写真の投稿



キゴ山ふれあい研修センター ホームページ

(2) 主催事業や施設の広報の充実

情報誌やラジオなどメディアを通じた情報の発信など幅広く積極的な広報を行う。

- ・ 各種団体、施設等への広報活動の充実

(3) 報道機関との連携

報道機関と連携しながら新たな魅力発信の仕方を工夫していく。

- ・ 放送局によるキゴ山からのLIVE映像の配信
- ・ 気象予報士による星空情報の発信
- ・ 新聞社への特集記事の積極的な提案

〈 Mission 5 〉 天文分野の魅力発信と新たな学びの場の提供

市民が気軽に星を楽しめる機会を提供するために、キゴ山ふれあい研修センター内外での天文イベントの充実を図ります。また、星を楽しみながら学習する場を提供することで、生涯学習拠点としての機能を充実させ、学校等との連携強化を図ります。

- ◆市民が参加しやすい場所での天体イベントの開催（駅、公園、ベイエリアなど）
- ◆プラネタリウムを利用したイベントの拡充
- ◆学校教育における天文学習の推進
- ◆公民館との連携による宇宙・天文の学びの場の設定

（1）市街地での天体観望会

星を楽しみたいがキゴ山まで遠いという市民のために、市街地で天体観望会を開催する。

- ・金沢城址公園
- ・しいのき迎賓館
- ・金沢ベイエリア 等



金沢市民芸術村での天体観望会

（2）プラネタリウムを利用したイベント

より多くの市民にキゴ山に足を運んでもらうきっかけとするために、プラネタリウムと体験活動を組み合わせ、新たな魅力を生み出す。

- ・ぷらっとキゴ山（プラネタリウムと自然体験）
- ・星と夜空の音楽会（プラネタリウムと音楽）
- ・ぷらっとサイエンス（プラネタリウムと科学実験、工作）
- ・星空と朗読（プラネタリウムと朗読）



星と夜空の音楽会



星空と朗読

(3) キゴ山での天体観望会

生涯を通して星を楽しむきっかけとするために、キゴ山で実際の星空を見る機会を提供する。

- ・ 金曜日は星見の日
- ・ 毎週金曜日の夜にプラネタリウム解説や天体観望、星空解説を行うイベント
- ・ お泊まりスターウォッチング
- ・ 家族で宿泊し、一晩中星を楽しむことができるイベント



金曜日は星見の日



お泊りスターウォッチング

(4) 出前授業

子供たちが、宇宙の学びを深め、宇宙に関する興味関心を高めるために、キゴ山職員や民間企業の専門家が学校へ出向き、宇宙に関する解説や講義を行う。

(5) アストロスクール

星の学習を始める小学校4年生を対象とし、星の学習内容の理解を深めるために、プラネタリウムを活用して、夏や冬の大三角をはじめとする四季の星空を学ぶイベントを開催する。

(6) 学校・公民館との連携による天体観望会

学校や公民館と連携し、学校や地域と一体となって、より多くの人に星の楽しみ方を知ってもらうために、天体観望会を開催する。また、星のインタープリターの活躍の場として活用する。

〈 Mission 6 〉 情報化に対応した学習情報の提供と学習環境の整備

市民の主体的な学びをサポートするために、ICTの活用、最新情報の提供を可能とする環境の整備を進めます。

- ◆無線LAN等のインターネット環境の整備
- ◆天文学習棟の展示物のリニューアル
- ◆学校教育をサポートする情報提供

(1) 無線LAN環境の整備

来館者がリアルタイムに情報の取得や発信を可能にするために、施設内の無線LAN化を進める。また、インターネット環境を利用したプログラムを開設し、タブレットを使用した活動の充実を図る。

(2) 天文学習棟の展示リニューアル

展示物の老朽化に伴い、宇宙や天文の最新情報の提供を行うための展示物の更新を実施する。子供から大人まで、「見て、ふれて、新たに学べる、何度でも足を運びたいくなる」天文学習棟をめざす。



天文学習棟 既存の展示物

(3) 理科学習支援

GIGAスクール構想に伴い、小中学校の児童生徒に一人一台配付されるタブレット等に対応した、リモートによる天文情報の提供や学習指導を行う。

- ・プラネタリウムを利用した遠隔での学習支援
- ・キゴ山で撮影した惑星や月、太陽などの資料の提供

6 年次計画

テーマ1 宇宙の学びを深め未来を創造する人材の育成

〈 Mission 1 〉 多様な学習ニーズへ対応する学びの場の設定

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8～
金沢宇宙塾	→					
企画展		→				
キゴ山宇宙講演会				→		
起業家育成講座			→			
CubeSat 開発プロジェクト	→					

〈 Mission 2 〉 市民の学びの支援とボランティア活動の場の設定

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8～
星のインタープリター制度	→					

〈 Mission 3 〉 新しい価値創造へ向けての協同関係の構築

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8～
地域連携プロジェクト			→			
伝統文化×宇宙 の新しい価値の創造				→		
宇宙産業に関する公開討論会	→					
人工衛星開発を通じた学び				→		

テーマ 2 広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり

〈 Mission 4 〉 市民に届く情報発信の充実

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8～
ホームページの充実・SNS 等での情報交流	→					
主催事業や施設の広報の充実	→					
報道機関との連携			→			

〈 Mission 5 〉 天文分野の魅力発信と新たな学びの場の提供

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8～
市街地での天体観望会	→					
プラネタリウムを利用したイベント	→					
キゴ山での天体観望会	→					
出前授業	→					
アストロスクール			→			
学校・公民館との連携による天体観望会	→					

〈 Mission 6 〉 情報化に対応した学習情報の提供と学習環境の整備

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8～
無線LAN環境の整備	→					
天文学習棟の展示リニューアル		→				
理科学習支援		→				

第4章 金沢市宇宙教育推進計画 2021 の推進体制

1 推進体制

【金沢市社会教育委員会議の開催】

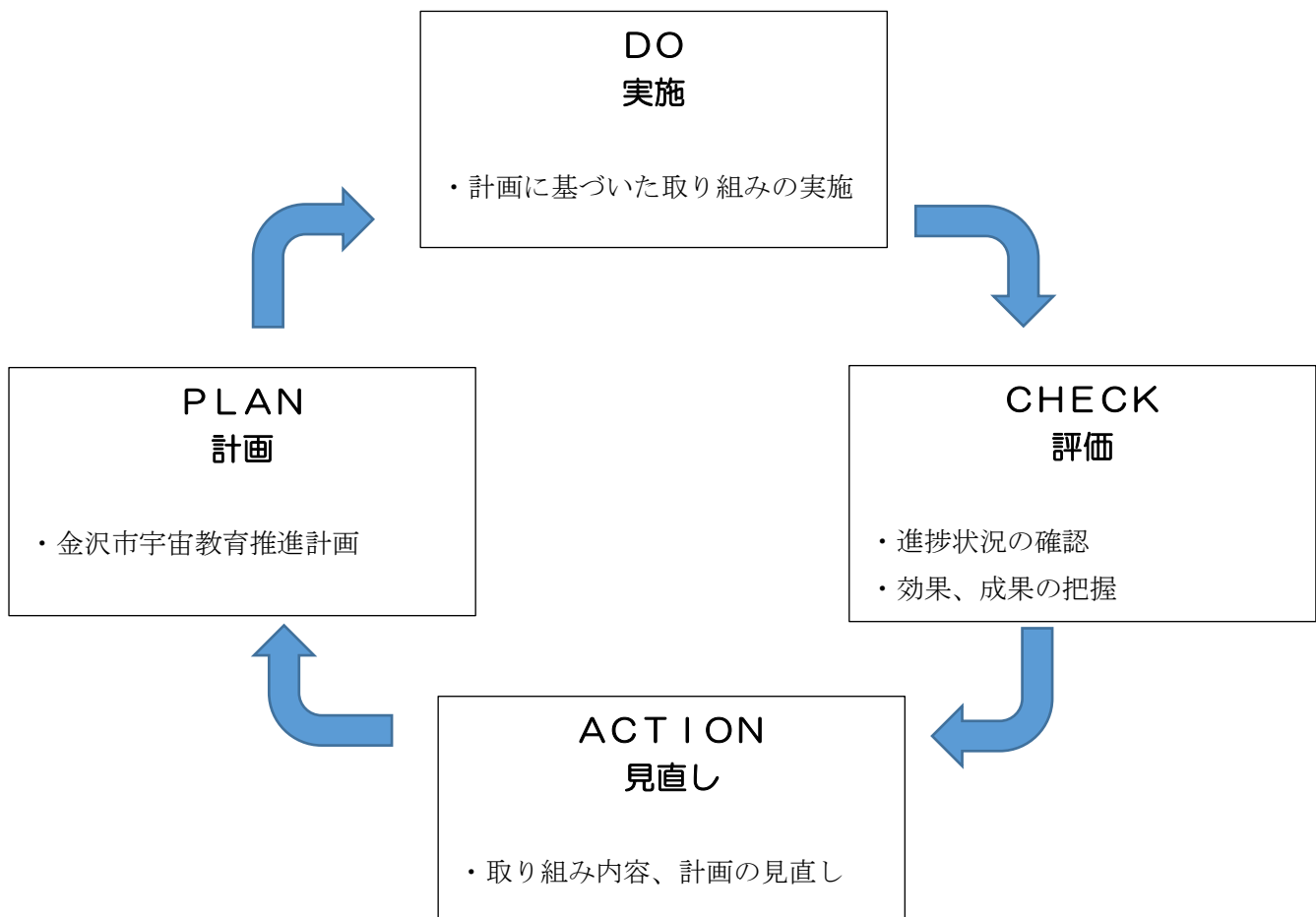
各種団体、学識経験者等によって構成される金沢市社会教育委員会議において、金沢市宇宙教育推進計画の推進にあたっての検討・アドバイスを受けるほか、本市の宇宙教育全般にかかる協議・検討を行い、計画的な施策展開に努めます。

2 評価と見直し

金沢市宇宙教育推進計画 2021 の計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間ですが、宇宙をとりまく環境は大きく変化することが予想されます。

そのため、本計画の推進にあたっては、計画（Plan）に基づいた実施（Do）だけではなく、取り組みの進捗状況を十分に把握するとともに、その効果や成果を評価（Check）し、必要に応じて積極的にその取り組み内容の見直し（Action）を図ることが必要です。

宇宙教育を取り巻く環境や社会状況の変化に対応するために、5年をめぐりに中間評価を行い、計画を推進していく過程において、新たな取り組みの展開、計画の見直しがあった場合は、柔軟に対応していくこととしています。



[金沢市宇宙教育推進計画 2021 策定の経緯]

開催・実施期間	検討経緯	検討内容
令和2年7月29日	第1回金沢市宇宙教育推進懇話会	前推進計画の検証、今後の施策の方向性の検討
令和2年8～9月	アドバイザーからの意見聴取	方向性への助言
令和2年10月20日	第2回金沢市宇宙教育推進懇話会	宇宙教育推進施策、産学官連携による施策検討
令和2年11～12月	アドバイザーからの意見聴取	施策等への助言
令和3年1月25日	「宇宙教育推進に関する提言」手交式	金沢市宇宙教育推進懇話会より「宇宙教育推進に関する提言」を受領

[金沢市宇宙教育推進懇話会委員・アドバイザー名簿]

金沢市宇宙教育推進懇話会委員

氏名	役職等	備考
清水 幸夫	JAXA広報普及・主幹付 金沢宇宙塾塾長	会長
八木谷 聡	金沢大学理工研究域教授	
中嶋 秀夫	金沢星の会会長	
加藤 隆弘	金沢大学人間社会学域准教授 日本宇宙少年団金沢支部副支部長	コーディネーター
鶴山 雄一	金沢青年会議所理事長	
高 穂栞	金沢青年会議所政策参与	
水野 勝正	金沢市立工業高等学校教頭	

金沢市宇宙教育推進懇話会アドバイザー

氏名	役職等	備考
的川 泰宣	JAXA名誉教授 はまぎんこども宇宙科学館館長	
渡部 潤一	国立天文台副台長 銀河の里キゴ山名誉館長	
米井 裕一	日本宇宙少年団金沢支部長 コマツ石川株式会社代表取締役社長	
伏見 一也	日本宇宙フォーラム広報普及事業部次長	
中村 友哉	株式会社アクセルスペース代表取締役CEO	
永崎 将利	スペースBD株式会社代表取締役社長	

金沢市宇宙教育推進計画 2021

発行：2021年（令和3年）2月

発行者：金沢市教育委員会